

会計名		健康日本21かりや計画推進事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	誰もが元気に明るく暮らすために、一人ひとりが健康的な生活習慣を身に付け、継続していけるよう、健康づくりに取り組みやすい環境を整備し、生涯を通じた市民の健康づくりを総合的に推進する。			主たる内容	○市民が健康づくりに取り組みやすい環境整備を行う。 ○計画推進及び市民周知を目的としたパンフレットを作成し、市民の健康づくりを推進する。			
	位置づけ	関連計画	次世代育成支援行動計画、国民健康保険・特定健康診査等実施計画等						
		根拠法令	健康増進法						
		対象者	市民		事業期間	平成26年度～令和6年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業 D実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の周知啓発優待カード918枚 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言の登録企業数 74社 計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の健康教育 13回 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の優待カード発行 1,025枚 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言の登録企業数 103社 計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の健康教育 17回 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・かりや健康マイレージ事業の優待カード発行 1,130枚 ・かりや健康づくりチャレンジ宣言の登録企業数 129社 計画推進の重点的取組 ・ロコモ予防の健康教育 29回 ・歯、口腔に関する正しい知識の普及啓発		健康づくり事業に取り組むための環境整備 ・健康づくりに関する調査の実施 ・第2次健康日本21かりや計画の最終評価	
成果		若い世代からの健康づくりのきっかけとしてかりや健康マイレージ事業の普及啓発を行った。ロコモティブシンドローム予防を実践するための体操や健康教育を実施した。健康経営・職場の健康づくりに取り組む事業所を認定し、健康づくりへの支援を行うとともに優秀な取組事業所を表彰し、PRを行った。							
課題		学校等への啓発などの事業を十分に実施することができなかった。今後は計画期間を考慮し、各目標値の達成に向け事業所や学校等に対する周知啓発や働きかけを強化、推進していく必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
成果指標	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度（%）				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
指標					53.5	52.9	51.5	80.0	80.0
	他市との比較検証								
C事業 コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		571	180	245	4,172	合計	244,810円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	242,160円	
		一般財源	571	180	245	4,172	使用料及び賃借料	2,650円	
	職員人件費②		9,333	4,770	5,798	7,348			
	総事業費（①+②）		9,904	4,950	6,043	11,520			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
	4年度までの累積事業費		0						
	6年度以降の事業費見込		0						

会計名			健康日本21かりや計画推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	生活習慣病発症予防や介護予防を図り、健康寿命を延伸して豊かな高齢期を過ごすことは、誰もが望むことであり、市民ニーズが高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	啓発物品の配布方法の見直しや、ホームページやアプリの活用、関係団体等と情報交換その他の連携を図ることで、効率的な計画推進の方法を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	第8次総合計画との整合性を図りながら推進する事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	健康日本21かりや計画に掲げる目標値達成に向けて、さまざまな取組みを継続して実施していくことが、市民サービスにつながる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民や企業の健康に関する意識や価値観等の把握のため「刈谷市健康づくりに関する調査」を実施するとともに、現行計画の最終評価を行い、それらで得られた課題や国や県の健康増進施策の動向等を踏まえ、新たな「第3次健康日本21かりや計画」策定の準備を進める。					

会計名		刈谷豊田総合病院医療機器補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	市民の医療に対するニーズの多様化・高度化に対し、最新医療機器導入により市民の健康管理に寄与する。			主たる内容	刈谷豊田総合病院における高度医療機器の購入及び医療情報システムの導入等に要する経費を補助する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	医療法人豊田会		事業期間	平成7年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
手術支援ロボットの更新・増設及び全身用MRI装置の更新に対して補助金を交付した。		手術用顕微鏡の更新、仮想サーバー及び手術室モニタシステムの更新に対して補助金を交付した。		デジタル顕微鏡、採血管作成機器及び認証システム一式、超電導磁石式全身用MR装置、統合画像情報管理システムの改修に対して補助金を交付した。		高度医療機器に対して補助金を交付する。			
成果		最新医療機器・高度医療支援システムの改修を支援することで、安心して医療が受けられる環境整備に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.9	—	88.5	88.7	89.1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		120,000	98,446	120,000	120,000	合計 120,000,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 120,000,000 円		
		一般財源	120,000	98,446	120,000	120,000			
	職員人件費 ②		224	227	158	161			
	総事業費（①+②）		120,224	98,673	120,158	120,161			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷豊田総合病院医療機器補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	医療機器の整備により、治療方法に選択の幅が広がることで救命率の増加に繋がることが期待でき、市民のニーズも高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	機器の更新により、検査の効率化と速やかな診断に寄与するなどの費用対効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	多くの市民が受診する総合病院であることから、市が主体となって実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	安心で安全な医療の確保のための市民サービスであり、貢献度も高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
安心で安全な医療の確保のため、今後も継続して補助を行っていく。					

会計名 一般会計			がん患者補整具購入費助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	成人保健係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	がん患者の心理的及び経済的負担を軽減するとともに、社会参加の促進を図る。	主たる内容	○対象者 頭髪の脱毛又は乳房の変形の起因となるがん治療を受けた人又は現に受けている人 ○対象補整具 ・ウィッグ(かつら、頭皮保護用ネット等) ・乳房補整具(補整下着、補整パッド、人工乳房等) ○助成額 ウィッグ、乳房補整具それぞれで購入費用の2分の1(各上限2万円)					
	位置づけ	関連計画							
	根拠法令	がん対策基本法、刈谷市がん患者補整具購入費助成金交付要綱							
	対象者	対象補整具が必要ながん患者		事業期間	令和4年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
						・ウィッグ助成件数 37件 ・乳房補整具助成件数 12件		・ウィッグ助成件数 55件 ・乳房補整具助成件数 15件	
成果		がん治療による外見の変化を補完するための補整具が購入しやすくなり、社会参加促進の一助となった。							
課題									
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		ウィッグ助成金額(円)			—	—	725,530	1,100,000	1,200,000
活動指標		乳房補整具助成金額(円)			—	—	214,300	300,000	360,000
他市との比較検証		【人口規模が近い自治体の助成件数】 小牧市：ウィッグ助成47件、乳房補整具6件 西尾市：ウィッグ助成29件、乳房補整具9件							
C 事業コスト 建設事業		単位：千円		2年度(決算)	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度(予算)	4年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	940	1,400	合計	939,830円	
	財源	特定財源	0	0	450	700	負担金、補助及び交付金	939,830円	
		一般財源	0	0	490	700			
	職員人件費②		0	0	3,245	620			
	総事業費(①+②)		0	0	4,185	2,020			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		がん患者アピアランスケア支援事業費補助金(県)					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			がん患者補整具購入費助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	がん患者は増加しており、外見の変化を補完することで社会参加をしやすくなるため。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	どの業者で購入しても助成が受けられるよう事後申請にしている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市が実施することで、市民が問い合わせや申請をしやすく、制度の利用につながる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	がん患者の社会参加の促進に貢献できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	制度の周知を図り、補整具購入をしやすくする。				

会計名			健康診査事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	成人保健係		
4	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	生活習慣に関する骨粗しょう症、歯周疾患及びC型・B型肝炎の予防と早期発見、早期治療を図る。			主たる内容	市民を対象に、骨粗しょう症検診、歯科健康診査、後期高齢者歯科口腔機能健康診査、肝炎ウイルス検診を実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
		根拠法令	健康増進法							
		対象者	市民（検診の種類により対象年齢あり）		事業期間	平成6年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・骨粗しょう症検診 278人 ・歯科健診 3,239人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 440人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,408人 C型 1,405人		・骨粗しょう症検診 457人 ・歯科健診 3,168人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 565人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,367人 C型 1,367人		・骨粗しょう症検診 635人 ・歯科健診 3,215人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 640人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,250人 C型 1,249人		・骨粗しょう症検診 676人 ・歯科健診 3,400人 ・後期高齢者歯科口腔機能健診 734人 ・肝炎ウイルス検診 B型 1,400人 C型 1,400人		
成果		疾病の予防、早期発見に結びついている。								
課題		歯科健診の受診率が20%に達するよう、さらに受診勧奨を図りたい。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	歯科健診受診率（40、50、60、70歳）（%）				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
指標					17.1	18.0	18.8	19.5	20.0	
他市との比較検証	近隣市と比較して、歯科健診の受診率は第1位（刈谷市受診率18.8%）となっている。 【歯科健診受診率（40、50、60、70歳）】 碧南市15.8%、安城市13.8%、知立市9.9%、高浜市5.9%、西尾市4.8%									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		32,281	35,284	36,443	39,180	合計	36,443,402 円		
	財源	特定財源	7,583	6,940	8,008	11,096	需用費	470,140 円		
		一般財源	24,698	28,344	28,435	28,084	役務費	3,517,000 円		
	職員人件費 ②		3,218	3,339	3,396	2,763	委託料	32,454,882 円		
	総事業費（①+②）		35,499	38,623	39,839	41,943	使用料及び賃借料	1,380 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		健康増進事業費補助金（県） 後期高齢者医療制度歯科健康診査補助金						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			健康診査事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	健康増進法に基づき実施している。また、歯科健診、骨粗しょう症検診については、対象者を拡大して実施している。平成29年度から後期高齢者歯科口腔機能健診を実施している。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	歯科健診、後期高齢者歯科口腔機能健診、肝炎ウイルス検診については、市内指定医療機関で実施できる体制にしている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	健康増進法に基づき実施している。疾病の早期発見、早期治療により、市民の健康を守ることを目的とした事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	歯周疾患、口腔機能低下、肝炎、骨粗しょう症の早期発見と早期治療につながっている。	
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	これまでに、一度も健診（検診）を受けていない人への受診勧奨を行い、疾病の早期発見に努める。				

会計名			がん検診事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	成人保健係		
4	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	がんの早期発見・早期治療により市民の健康を守る。				主たる内容	死亡原因の上位を占めるがんについて、早期発見により早期治療に繋げるため、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がん等のがん検診を実施する。			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
			根拠法令	健康増進法、がん対策基本法						
		対象者	市民（検診の種類により対象年齢あり）			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		各種がん検診受診率		各種がん検診受診率		各種がん検診受診率		各種がん検診受診率		
・胃がん 13.4%		・胃がん 16.2%		・胃がん 14.6%		・胃がん 16.5%				
・大腸がん 24.6%		・大腸がん 27.4%		・大腸がん 25.1%		・大腸がん 28.0%				
・肺がん 22.1%		・肺がん 24.7%		・肺がん 21.5%		・肺がん 25.0%				
・子宮がん 22.5%		・子宮がん 31.5%		・子宮がん 34.1%		・子宮がん 35.0%				
・乳がん 26.3%		・乳がん 24.3%		・乳がん 25.8%		・乳がん 26.5%				
成果		がんの早期発見に貢献している。								
課題		さらに受診勧奨をし、がんの早期発見に努める必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	各種がん検診受診者数（人）				32,629	37,370	37,245	38,000	38,500	
活動指標	がん検診の受診率（%）				21.8	24.8	24.2	26.2	26.5	
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		211,826	246,378	246,961	269,036	合計	246,961,031 円		
	財源	特定財源	566	579	524	524	需用費	5,455,763 円		
		一般財源	211,260	245,799	246,437	268,512	役務費	2,776,000 円		
	職員人件費 ②		3,741	3,566	4,676	5,059	委託料	238,729,268 円		
	総事業費（①+②）		215,567	249,944	251,637	274,095				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0		がん検診推進事業費補助金（国）				
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			がん検診事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	健康増進法及びがん対策基本法に基づき、死亡原因の第1位であるがんの早期発見の推進に努める必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	市内指定医療機関にて個別に検診が実施できる体制整備や、がん検診等受診券を特定健康診査受診票に同封したり、特定年齢に対して個別に送付するなど、受けやすい体制が整っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	健康増進法及びがん対策基本法に基づき実施しており、がんの早期発見、早期治療により市民の健康を守ることを目的とした事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	がんの早期発見につながっている。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
がん検診の受診勧奨を行い、受診率向上を図り、がんの早期発見に努める。					

会計名			特定保健指導事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	成人保健係	
4	1	3							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	特定保健指導を実施することにより、生活習慣改善への意識付けを行い、生活習慣病を予防する。			主たる内容	特定健康診査等の結果に基づいて、情報提供・動機付け支援・積極的支援の3階層に区分し保健指導を行う。			
	位置づけ	関連計画	第3期刈谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画、第2期刈谷市国民健康保険データヘルス計画						
			根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法					
		対象者	動機付け・積極的支援に該当する人等		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・積極的支援初回面接者数 12人 ・動機付け支援初回面接者数 112人 ※保健センターに加え市内健診センター2箇所での保健指導を開始		・積極的支援初回面接者数 22人 ・動機付け支援初回面接者数 111人		・積極的支援初回面接者数 13人 ・動機付け支援初回面接者数 78人		・積極的支援初回面接者数 30人 ・動機付け支援初回面接者数 120人	
成果		直接対象者に働きかけ、生活習慣改善の意識付けができた。							
課題		さらなる実施率の向上を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標	法定報告による特定保健指導終了率（％） ※4年度の数値は11月公表予定			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
指標				15.4	13.2	—	16.0	16.5	
他市との比較検証	【法定報告 令和3年度終了率】 刈谷市13.2%、碧南市12.7%、安城市15.6%、知立市15.4%、高浜市18.9%								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,921	1,901	1,558	3,731	合計	1,558,229 円	
	財源	特定財源	1,490	1,828	1,310	3,706	需用費	145,481 円	
		一般財源	431	73	248	25	役務費	280,000 円	
	職員人件費 ②		2,845	2,960	2,869	2,840	委託料	1,132,748 円	
	総事業費（①+②）		4,766	4,861	4,427	6,571			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		特定健診等受託収入 健康増進事業費補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			特定保健指導事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	法に基づいて実施している。市民の健康の維持向上のために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	健診受診時に実施できる方法を取り入れており、効率的な実施体制としている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	市が実施主体である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民の健康づくりへの意識付けとなっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
参加しやすい体制づくりと、参加者が積極的に参加したくなるような仕組みを考える必要がある。					

会計名			げんきプラザ整備事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康増進係	
4	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	総合健康センター内「げんきプラザ」のサテライト施設を北部生涯学習センター内に開設し、安心安全で効果的な運動ができる場所を提供することで、市民の健康増進を図る。				主たる内容	洲原げんきプラザの開設に向けた整備を行う。		
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
			根拠法令	健康増進法					
		対象者	13歳以上の市民		事業期間	令和2年度 ~ 令和4年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		_____		・改修工事設計 ・運動指導員開催準備 4回		・改修工事 ・運動指導員開催準備 12回 ・トレーニングマシン等備品購入		_____	
成果		改修工事、備品購入など入札を早めに実施し、開設までに必要な準備ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		施設整備率（％）			—	0.0	100.0	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	3,000	52,169	0	合計	52,168,823 円	
	財源	特定財源	0	0	18,534	0	需用費	571,723 円	
		一般財源	0	3,000	33,635	0	委託料	430,100 円	
	職員人件費 ②		0	2,650	4,442	0	工事請負費	38,513,200 円	
	総事業費（①+②）		0	5,650	56,611	0	備品購入費	12,653,800 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金 成人保健事業寄付金			
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			げんきプラザ整備事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康増進係
4	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	安全に安心して効果的な運動ができる場所を増設することで、より多くの市民が利用しやすくなり、市民の健康の保持・増進及び介護予防に寄与することができる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	トレーニングを安心・安全に実践するには、体調の急変等のリスク管理等ができる職員の配置や安全に扱いやすいトレーニング機器を選定する必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	病気の持った人や低体力の人でも、安全に安心して効果的な運動ができる場所を増設することで、様々な健康状態の市民がより参加しやすくなる。また、総合計画にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	健康日本21かりや計画の推進にあたり、運動習慣のある人を増加させることで、市民の健康意識を高め、健康増進、生活習慣病予防、介護予防につながるものである。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名		予防接種事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	成人保健係	
4	1					4			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	風しんの抗体検査と予防接種を実施することにより、風しんの感染及び先天性風しん症候群の予防を図る。 また、帯状疱疹予防接種費用の助成を実施することにより、帯状疱疹の発症及び後遺症の予防を図る。	主たる内容	○風しん抗体検査と予防接種 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対して、無料で風しんの抗体検査を行い、抗体価の低い人に定期接種として無料で予防接種を実施する。 ○帯状疱疹予防接種 満50歳以上の市民を対象に帯状疱疹予防接種費用の助成を行う。（1回限り）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	予防接種法、刈谷市帯状疱疹予防接種費助成金交付要綱						
		対象者	主たる内容欄参照		事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・風しん抗体検査実施者数 1,553人 ・風しん予防接種実施者数 331人		・風しん抗体検査実施者数 581人 ・風しん予防接種実施者数 153人 ・帯状疱疹予防接種実施者数 909人		・風しん抗体検査実施者数 229人 ・風しん予防接種実施者数 63人 ・帯状疱疹予防接種実施者数 1,013人		・風しん抗体検査実施者数 600人 ・風しん予防接種実施者数 200人 ・帯状疱疹予防接種実施者数 1,260人	
成果		風しんのまん延及び先天性風しん症候群の発生予防に寄与した。帯状疱疹の発症及び重症化予防に寄与した。							
課題		さらに実施率を向上させる必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		風しん抗体検査実施者数（人）			1,553	581	229	600	—
活動指標		帯状疱疹予防接種実施者数（人）			—	909	1,013	1,260	1,500
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①	12,853	9,187	5,812	11,630	合計	5,811,833 円		
	財源	特定財源	4,603	1,991	722	2,187	需用費	10,296 円	
		一般財源	8,250	7,196	5,090	9,443	役務費	212,900 円	
	職員人件費 ②	2,471	1,522	3,170	2,380	委託料	1,904,837 円		
	総事業費（①+②）	15,324	10,709	8,982	14,010	負担金、補助及び交付金	3,683,800 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		風しん抗体検査事業費補助金（国）					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			予防接種事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	風しんの感染及び先天性風しん症候群の発生予防のために必要である。 带状疱疹の発症及び重症化予防のために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	風しん抗体検査と予防接種は、全国の実施医療機関で検査、予防接種が受けられる。 带状疱疹予防接種は、市内指定医療機関で受けられる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	風しん抗体検査と予防接種は、予防接種法に基づいており、市が実施主体である。 带状疱疹予防接種は、法的には定められていないが、市が費用助成することで市民が接種を受けやすくなる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	市民の健康保持に貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
風しん抗体検査と予防接種は、令和4年度から令和6年度まで実施期間が延長されたため、未受診の人に積極的に勧奨する必要がある。 带状疱疹予防接種の費用助成は継続して実施していく。					

会計名 一般会計			高齡者予防接種事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	4					担当係	成人保健係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	高齡者の肺炎球菌による肺炎や、インフルエンザの感染、発症及び重症化予防を図る。	主たる内容	○高齡者インフルエンザ定期予防接種 ○予防接種法に基づく高齡者肺炎球菌定期予防接種 ○予防接種法に基づかない高齡者肺炎球菌任意予防接種費用の助成					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	予防接種法、刈谷市高齡者肺炎球菌予防接種費助成金交付要綱						
		対象者	65歳以上の市民等	事業期間	平成13年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
	・インフルエンザ 23,097人 ・高齡者肺炎球菌 定期接種 1,172人 任意接種 127人		・インフルエンザ 20,507人 ・高齡者肺炎球菌 定期接種 1,050人 任意接種 62人		・インフルエンザ 21,930人 ・高齡者肺炎球菌 定期接種 951人 任意接種 48人		・インフルエンザ 22,000人 ・高齡者肺炎球菌 定期接種 1,200人 任意接種 120人		
	成果	高齡者のインフルエンザや肺炎の発症又はその重症化を防止し、併せてまん延の予防に貢献している。							
	課題	高齡者のインフルエンザ及び肺炎の予防のために、さらに接種率の向上に努める必要がある。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
	活動指標	インフルエンザ予防接種率（%）		73.6	64.8	69.1	70.0	70.5	
	指標								
他市との比較検証	【高齡者インフルエンザ予防接種 接種率】 刈谷市69.1%、碧南市66.5%、安城市66.8%、知立市65.7%、高浜市64.8%								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		136,706	102,985	129,090	112,148	合計	129,090,369 円	
	財源	特定財源	22,309	0	17,206	0	需用費	1,657,977 円	
		一般財源	114,397	102,985	111,884	112,148	役務費	3,801,133 円	
	職員人件費 ②		3,367	3,717	3,622	4,217	委託料	123,249,709 円	
	総事業費（①+②）		140,073	106,702	132,712	116,365	負担金、補助及び 交付金 扶助費	212,000 円 169,550 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		高齡者インフルエンザ予防接種費補助金（県）			
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者予防接種事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	成人保健係
4	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	高齡者インフルエンザ予防接種と高齡者肺炎球菌予防接種は予防接種法で定められており、発症及び重症化を防ぐために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	接種を受けやすいように、医療機関個別接種方式で実施している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	高齡者インフルエンザ予防接種及び高齡者肺炎球菌予防接種は、予防接種法上で定期接種として、市が実施主体と定められている。高齡者肺炎球菌任意予防接種への費用助成については、定期接種対象者以外の人の接種費用負担軽減のために必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	市民の健康保持のために貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齡者肺炎球菌予防接種は接種年齢が限定されているため、当該年度に接種できるように、個別通知を継続する。 また、定期接種時に接種できなかった人への、任意接種費用助成を継続する。					

会計名		新型コロナウイルスワクチン接種事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					4			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化の予防を図る。		主たる内容	新型コロナウイルスワクチンの接種を安全かつ円滑に実施する。				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	予防接種法					
		対象者	市民		事業期間	令和2年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 健康管理システムの改修 コールセンターの設置、運営 医療機関への説明会の開催 		（R2繰越分含む） <ul style="list-style-type: none"> 健康管理システムの改修 接種券の印刷、郵送 コールセンターの運営 接種に必要な物品等の購入 集団接種体制の整備 市民へのワクチン接種 		<ul style="list-style-type: none"> 健康管理システムの改修 接種券の印刷、郵送 コールセンターの運営 接種に必要な物品等の購入 集団接種体制の整備 市民へのワクチン接種 		（R4繰越分） <ul style="list-style-type: none"> 健康管理システムの改修 接種券の印刷、郵送 コールセンターの運営 接種に必要な物品等の購入 市民へのワクチン接種 	
成果		医療機関、施設、企業と連携し、希望する市民に安全かつ円滑にワクチン接種を実施できた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		新型コロナウイルスワクチン総接種回数(回)			—	294,266	129,898	—	—
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		11,418	1,066,192	550,295	331,460	合計	550,295,409 円	
	財源	特定財源	11,418	1,066,192	550,207	331,460	報酬	10,341,589 円	
		一般財源	0	0	88	0	職員手当等	987,321 円	
	職員人件費 ②		0	97,663	75,669	36,587	旅費	279,380 円	
	総事業費（①+②）		11,418	1,163,855	625,964	368,047	需用費	19,493,740 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金					
6年度以降の事業費見込		0		新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金					
						役務費	22,875,172 円		
						委託料	494,260,637 円		
						備品購入費	1,925,000 円		
						扶助費	132,570 円		

会計名			新型コロナウイルスワクチン接種事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	健康推進課
款	項	目		担当係	健康企画係
4	1	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	感染症の感染拡大防止及び個人の健康を守るため、市民のニーズや社会需要が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	市、医療機関、企業が連携し、希望する市民が円滑かつ安全に接種が受けられるよう体制を確保した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	予防接種法に基づき、実施主体が市町村となっているため、市が実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民の健康保持のために貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
法に基づき、接種を継続していく。					

会計名			地域健康支援システム管理事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康企画係		
4	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	個々の情報を連携し、一元管理できるシステムを適切に管理する。				主たる内容	妊娠期から個人カルテの作成、各種健康診査・予防接種の対象者抽出およびデータの管理、各種講座・教室等受付の管理			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
保守管理		保守管理		保守管理		・保守管理 ・機器更新及びセットアップ作業				
成果		市民の情報を一元管理することにより、総合的なサービスを提供することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,351	8,936	10,156	15,865	合計	10,156,395 円		
	財源	特定財源	0	13	702	1,584	需用費	472,065 円		
		一般財源	6,351	8,923	9,454	14,281	委託料	6,281,634 円		
	職員人件費 ②		1,643	235	233	314	使用料及び賃借料	3,402,696 円		
	総事業費（①+②）		7,994	9,171	10,389	16,179				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0		風しん抗体検査事業費補助金（国）				
6年度以降の事業費見込		0		特定健診等受託収入						

会計名			自殺対策計画推進事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康増進係	
4	1	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	平成30年度に策定した刈谷市自殺対策計画に基づき、自殺対策を総合的に推進して自殺の防止を図り、市民の健康に寄与する。			主たる内容	自殺対策計画推進委員会の開催や自殺予防に関する情報等の周知や啓発、悩んでいる人を支援する人材育成を行う。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民	事業期間	令和元年度 ~ 令和5年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・自殺対策計画推進委員会開催数 1回		・自殺対策計画推進委員会開催数 1回		・自殺対策計画推進委員会開催数 1回		・自殺対策計画推進委員会開催数 4回	
・ゲートキーパー養成者数 150人		・ゲートキーパー養成者数 276人		・ゲートキーパー養成者数 301人		・ゲートキーパー養成者数 100人			
・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 8回		・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 11回		・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 12回		・事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数 10回			
・自殺対策推進の街頭啓発 2回		・自殺対策推進の街頭啓発 2回		・自殺対策推進の街頭啓発 2回		・自殺対策推進の街頭啓発 2回			
成果		感染対策をしながら講座・教室等を実施し、昨年度より実績が増加した。また、各種団体、企業等に働きかけ、一定の受講者数を確保できた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		ゲートキーパー養成者数（人）			150	276	301	100	100
活動指標	事業所向け出張型こころの健康講座の実施事業者数（回）			8	11	12	10	10	
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		315	311	516	548	合計	515,862 円	
	財源	特定財源	157	142	256	271	報償費	129,000 円	
		一般財源	158	169	260	277	需用費	378,862 円	
	職員人件費 ②		3,367	4,171	6,701	6,506	使用料及び賃借料	8,000 円	
	総事業費（①+②）		3,682	4,482	7,217	7,054			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		地域自殺対策強化事業費補助金（県）			
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			AED貸出事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康増進係		
4	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	市民が参加するイベント等の主催者に対し、AEDを貸し出すことにより、その参加者が心肺停止状態に陥った際に早期に救命措置を行うことができる体制を整え、市民の安心と安全の確保を図る。				主たる内容	市民が参加するイベント等の主催者に対し、AEDの貸出を行う。 ○対象 おおむね10人以上が参加する市内で開催されるイベント ○費用 無料 ○貸出場所 保健センター			
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者					事業期間	令和2年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・貸出AED保有数 2台 ・市民だより及びホームページによる周知		・貸出AED保有数 2台 ・市民だより及びホームページによる周知		・貸出AED保有数 2台 ・市民だより及びホームページによる周知		・貸出AED保有数 2台 ・市民だより及びホームページによる周知		
成果		新型コロナウイルスの感染状況によっては、イベント等の開催が縮小される場合もあるなか、4件ではあるが貸出実績を得ることができた。								
課題		新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、事業PRが十分にできなかった。また、イベントの縮小等もあり申請が少なかった。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		AED貸出件数（件）				3	3	4	5	10
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		150	150	150	151	合計	150,480 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料		150,480 円	
		一般財源	150	150	150	151				
	職員人件費 ②		373	454	452	459				
	総事業費（①+②）		523	604	602	610				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		病診連携推進事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏の診療所等のそれぞれの役割・機能を分担したうえで連携を推進することにより、より効果的・効率的に医療を提供できるようにする。			主たる内容	地域医療ネットワークシステムの運用に必要な保守費用等の補助を行う。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	医療法人豊田会		事業期間	令和4年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
_____		_____		地域医療ネットワークシステムの運用に必要な保守管理費用の補助を行った。		地域医療ネットワークシステムの運用に必要な保守管理費用の補助を行う。			
成果		衣浦定住自立圏の関係市町や医療機関と連携し、より効果的・効率的に医療を提供することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		安心して医療が受けられる環境が整っていると思う市民の割合			84.9	—	88.5	88.7	89.1
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,594	2,677	合計 1,594,026 円		
	財源	特定財源	0	0	344	571	負担金、補助及び交付金 1,594,026 円		
		一般財源	0	0	1,250	2,106			
	職員人件費 ②		0	0	226	230			
	総事業費（①+②）		0	0	1,820	2,907			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		病診連携推進事業参加自治体負担金			
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	健康企画係	
4	1	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	保健センターの適切な維持管理等を図る。			主たる内容	光熱水費、施設保守管理委託料			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和55年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		総合健康センター維持管理を行った。		総合健康センター維持管理を行った。		総合健康センター維持管理を行った。		総合健康センター維持管理を行う。	
成果		総合健康センターの適切な維持管理が図られた。							
課題		平成23年度に施設が開設して10年以上が経過しており、細かい部分で修繕の必要な箇所が出てきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		29,159	32,888	33,398	39,006	合計	33,398,410 円	
	財源	特定財源	53	63	45	74	需用費	14,331,617 円	
		一般財源	29,106	32,825	33,353	38,932	役務費	1,079,273 円	
	職員人件費 ②		3,808	4,240	4,593	4,669	委託料	13,821,775 円	
	総事業費（①+②）		32,967	37,128	37,991	43,675	使用料及び賃借料	4,102,715 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
6年度以降の事業費見込		0							
備品購入費				63,030 円					

会計名			刈谷豊田総合病院補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康企画係		
4	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	地域医療体制の充実							
	目的	市民がいつでも安心して医療が受けられるように、市民病院的病院として位置づけられている刈谷豊田総合病院の健全な運営の維持を支援する。				主たる内容	刈谷豊田総合病院の運営に対する補助			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
	対象者	医療法人豊田会			事業期間	昭和56年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援した。 ※新型コロナウイルス影響下での運営安定化を図るため2億円を増額		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援した。		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援した。		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援する。		
成果		刈谷豊田総合病院の健全な運営を支援することにより、市民が安心して医療を受けられる環境整備に寄与することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.9	—	88.5	88.7	89.1	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		521,527	314,516	311,304	316,439	合計 311,304,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 311,304,000 円			
		一般財源	521,527	314,516	311,304	316,439				
	職員人件費 ②		896	1,514	1,205	1,225				
	総事業費（①+②）		522,423	316,030	312,509	317,664				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		新型コロナウイルス対応支援資金利子補給				担当部	福祉健康部		
款 項 目		事業				担当課	健康推進課		
4 1 1						担当係	健康企画係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	市民が安心して医療が受けられるよう、医療機関等の経営の安定を図る。			主たる内容	新型コロナウイルス感染症により減収等の影響を受けた医療機関が、独立行政法人福祉医療機構から新型コロナウイルス対応支援資金の融資を受けた場合、その利子相当分について支援する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令			刈谷市新型コロナウイルス対応支援資金利子補給補助金交付要綱				
		対象者	市内医療機関等		事業期間	令和2年度 ~ 令和8年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
				交付件数 1事業所		交付件数 1事業所		申請に応じて交付する。	
成果		医療機関の経営の安定を図ることにより、市民が安心して医療が受けられる体制づくりに寄与した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		交付件数			0	1	1	1	1
活動指標									
他市との比較検証		市独自の事業である。							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	8,744	6,492	7,000	合計 6,492,492 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 6,492,492 円		
		一般財源	0	8,744	6,492	7,000			
	職員人件費 ②		896	530	158	161			
	総事業費（①+②）		896	9,274	6,650	7,161			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		臨床検査センター検査設備補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	刈谷医師会臨床検査センターの検査設備を充実する事業に対し補助することで地域住民の健康を守り医療サービスの推進を図る。			主たる内容	検査機器やシステム導入に要する経費の補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷医師会		事業期間	平成2年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		検査設備の更新、導入経費に対し補助した。		検査設備の更新、導入経費に対し補助した。		検査設備の更新、導入経費に対し補助した。		検査設備の更新、導入経費に対し補助する。	
成果		検査設備を充実することで精度管理の向上が図られ、市民の健康管理に対し、寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.9	—	88.5	88.7	89.1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		25,000	23,128	21,744	25,000	合計 21,743,980 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 21,743,980 円		
		一般財源	25,000	23,128	21,744	25,000			
	職員人件費 ②		224	227	158	161			
	総事業費（①+②）		25,224	23,355	21,902	25,161			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			休日診療運営支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	健康推進課		
4	1	1					担当係	健康企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				主たる内容	○休日等の8時30分から19時30分、刈谷医師会 が開設する休日診療所（内科）にて救急患 者の診療にあたることへの人件費の補助 ○休日等の9時から17時、刈谷医師会が実施す る在宅当番医制事業（外科）にて救急患者 の診療にあたることへの人件費の補助 ○事業委託料は、刈谷医師会に属する刈谷、 知立、高浜の3市の会員数で按分し負担		
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	地域医療体制の充実							
	目的	刈谷医師会が運営する休日診療所及び休日 在宅当番医制事業に対し補助することにより 市民の休日の救急医療体制の確保を図るとと もに、第2次及び第3次医療機関での受け入れ 患者数を抑制する。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	一般社団法人刈谷医師会	事業期間	昭和49年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・休日診療所開設日数 70日 ・診療人数 1,525人 ・外科診療日数 49日		・休日診療所開設日数 70日 ・診療人数 2,265人 ・外科診療日数 48日		・休日診療所開設日数 70日 ・診療人数 5,052人 ・外科診療日数 46日		・休日診療所開設日数 70日 ・外科診療日数 55日		
成果		軽度の救急患者の処置を行うことにより、重度の救急患者を受け入れる2次及び3次救急医療機関(刈谷豊田総合病院等)の受け入れ体制の緩和に貢献するとともに、市民の救急医療の確保が図られた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）				84.9	—	88.5	88.7	89.1
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		30,122	29,994	30,088	33,653	合計	30,088,278 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	2,636,858 円		
		一般財源	30,122	29,994	30,088	33,653	負担金、補助及び交付金	27,451,420 円		
	職員人件費 ②		224	227	158	161				
	総事業費（①+②）		30,346	30,221	30,246	33,814				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		休日歯科在宅当番医制運営補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	刈谷市歯科医師会が運営する休日歯科在宅当番医制事業の運営を補助することで市民の休日の医療確保を図る。	主たる内容	休日等の9時から12時の間、在宅輪番制で救急患者の診療にあたることへの運営費の補助					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷市歯科医師会	事業期間	平成8年度 ~				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		歯科の休日診療を当番制で実施した。 ・開設日数 76日		歯科の休日診療を当番制で実施した。 ・開設日数 75日		歯科の休日診療を当番制で実施した。 ・開設日数 75日		歯科の休日診療を当番制で実施する。 ・開設日数 75日	
成果		お盆や年末年始を含め、休日における市民の救急医療の確保が図られた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）		84.9	—	88.5	88.7	89.1	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		3,998	3,952	3,952	3,999	合計 3,951,905 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 3,951,905 円		
		一般財源	3,998	3,952	3,952	3,999			
	職員人件費 ②		224	227	158	161			
	総事業費（①+②）		4,222	4,179	4,110	4,160			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		在宅ねたきり老人等歯科医療推進補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	在宅ねたきり老人等の口腔機能障害を改善し、健康の保持と歯科保健の充実を図るため刈谷市歯科医師会に対し補助する。			主たる内容	在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に、刈谷医師会の主治医と連絡を取り、口腔内の予診を行い、治療計画を立て治療していくこれらの事業に対する補助			
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	一般社団法人刈谷市歯科医師会		事業期間	平成元年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施した。 ・診療件数 334件		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施した。 ・診療件数 391件		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施した。 ・診療件数 411件		在宅寝たきり老人や障害者で歯科往診希望者を対象に訪問歯科診療を実施する。	
成果		刈谷市歯科医師会が行う訪問歯科診療事業に対し補助することにより、在宅寝たきり老人や障害者の口腔機能障害の改善に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.9	—	88.5	88.7	89.1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,750	1,750	1,750	1,750	合計 1,750,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,750,000 円		
		一般財源	1,750	1,750	1,750	1,750			
	職員人件費 ②		224	227	158	161			
	総事業費（①+②）		1,974	1,977	1,908	1,911			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		健康づくり推進歯科事業補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	刈谷市歯科医師会が行う健康づくりを目的とした事業に対し補助することで高齢になっても自分の歯で楽しく食生活を送ることができるよう市民の歯の健康保持・増進を図る。			主たる内容	歯科医師による歯科健診・保健指導を実施し、また健康づくりのための講習会等を開催する事業に対する補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	一般社団法人刈谷市歯科医師会	事業期間	平成20年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修を実施した。		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修を実施した。		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修を実施した。		歯科健康診査、歯科に関する健康づくり講習会、研修、8020表彰事業を開催。	
成果		刈谷市歯科医師会による歯科に関する各種事業を実施することで市民の健康増進に寄与することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）			71.2	—	68.3	75.0	75.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		898	960	944	979	合計	943,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	943,600 円	
		一般財源	898	960	944	979			
	職員人件費 ②		224	227	158	161			
	総事業費（①+②）		1,122	1,187	1,102	1,140			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			薬と健康推進事業補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康企画係		
4	1	1								
PLAN A N A 計 画 要 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	刈谷市薬剤師会が行う市民の健康増進に寄与することを目的とした事業に対し補助することで市民に薬に関する正しい知識や最新の情報を提供する。				主たる内容	時事に応じて市民が不安や悩みを抱くような薬に関わるテーマによる市民講座の開催や冊子等により知識の啓蒙や情報を提供する事業に対する補助			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	一般社団法人刈谷市薬剤師会			事業期間	平成20年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O A 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座を2回開催 啓発用リーフレットを配布 		<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座を1回開催 啓発用リーフレットを配布 ポスター等を用いた広報や地域住民に向けたイベントなどの実施 		<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座の開催 啓発用リーフレットを配布 		<ul style="list-style-type: none"> 市民健康講座の開催 啓発用リーフレットを配布 				
成果		時事に応じた薬に関する市民健康講座を開催すること等により、市民に対する啓蒙と情報提供ができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
成果指標		日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）			71.2	—	68.3	75.0	75.0	
指標										
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		205	205	205	205	合計		205,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 205,000 円			
		一般財源	205	205	205	205				
	職員人件費 ②		224	227	158	161				
	総事業費（①+②）		429	432	363	366				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			骨髄提供者等助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	1					担当係	健康企画係	
P L A N A N G I N G V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	市内に住所を有する骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者が骨髄を提供しやすい環境を整備する。			主たる内容	骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付する。 ○助成額（1回の骨髄等の提供につき7日を限度） 提供者 1日につき2万円 事業所 1日につき1万円			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	主たる内容欄参照		事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O A N G I N G V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・助成対象者数 2人 ・助成対象事業所数 0箇所		・助成対象者数 0人 ・助成対象事業所数 1箇所		・助成対象者数 6人 ・助成対象事業所数 3箇所		・助成対象者数 8人 ・助成対象事業所数 8箇所	
成果		骨髄提供者及び骨髄提供者が勤務する事業所に対して助成金を交付することにより、骨髄提供者が骨髄を提供しやすい環境を整備することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	従業員及びその家族の健康づくりを積極的に進める事業所へのPR数（社）			74	64	117	130	135	
活動指標									
他市との比較検証									
C C O S T S T R U C T I O N V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		280	70	1,050	1,680	合計 1,050,000 円		
	財源	特定財源	140	35	525	840	負担金、補助及び交付金 1,050,000 円		
		一般財源	140	35	525	840			
	職員人件費 ②		299	303	233	237			
	総事業費（①+②）		579	373	1,283	1,917			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		骨髄提供者助成事業費補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		医療救護器材等整備事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	地域医療体制の充実						
	目的	災害時における医療救護体制の充実を図るため、災害時の医療救護活動に必要な医療器具・医薬品等を救護所施設に常備する。		主たる内容	市内5小中学校に配置した医療器具や医薬品を点検し、使用期限の切れるものを更新し適正に管理する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市民		事業期間	平成18年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用の物品購入を行った。		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用の物品購入を行った。		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用の物品購入を行った。		医薬品等の使用期限を確認し随時更新するとともに、防災用品の購入を行う。	
成果		医薬品等の更新を行い、災害時の医療救護の実施に備えた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		安心できる医療環境が整っていると思う市民の割合（％）			84.9	—	88.5	88.7	89.1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,505	1,303	1,866	2,390	合計	1,866,213 円	
	財源	特定財源	0	0	0	190	需用費	1,802,213 円	
		一般財源	1,505	1,303	1,866	2,200	委託料	64,000 円	
	職員人件費 ②		523	1,211	1,205	1,760			
	総事業費（①+②）		2,028	2,514	3,071	4,150			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			健康教育・相談等事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	健康増進係		
4	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	市民参画による健康づくりを推進することで「健康はつくるもの」という市民の意識を高める。				主たる内容	○市民健康講座等の保健事業及び各種教室の開催 ○保健推進員や食と健康づくりの会会員の養成 ○地域での健康づくり活動の支援 ○こころの健康づくりの各種講座の開催			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画							
		根拠法令	健康増進法							
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・健康教育 5,012人 565回 ・健康相談 674人		・健康教育 9,068人 996回 ・健康相談 1,187人		・健康教育 11,114人 1,039回 ・健康相談 1,447人		・健康教育 12,310人 1,040回 ・健康相談 1,400人		
成果		感染症対策を講じた上で、市民健康講座、集団運動教室、その他の健康づくり事業を開催し、市民へ健康づくりのための正しい知識の普及を図ることができた。								
課題		健康への関心が低い若い世代、働く世代の健康づくりのための正しい知識の普及啓発が不十分である。幅広い年代層へ健康づくりに関する知識を普及できるよう、情報発信の方法や媒体の検討が必要である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	健康教育回数(回)				565	996	1,039	1,040	1,045	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,722	2,445	3,155	4,261	合計 3,154,550 円			
	財源	特定財源	391	627	820	812	報償費	850,810 円		
		一般財源	2,331	1,818	2,335	3,449	需用費	1,538,240 円		
	職員人件費 ②		14,567	15,149	16,640	15,768	役務費	146,650 円		
	総事業費（①+②）		17,289	17,594	19,795	20,029	委託料	578,800 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		健康増進事業費補助金（県） 地域自殺対策強化事業費補助金（県）						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		基本健康診査事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	成人保健係	
4	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	40歳未満の市民の生活習慣病の早期発見・早期治療を図る。		主たる内容	40歳未満の市民を対象に、生活習慣病予防及び早期発見に重点をおいた健康診査を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
			根拠法令	健康増進法					
		対象者	40歳未満の市民		事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・定員 180人 ・受診者数 146人		・定員 450人 ・受診者数 371人		・定員 450人 ・受診者数 360人		・定員 480人 ・受診者数 480人	
成果		生活習慣病の予防と早期発見に貢献している。若い年代から健康診査を定期的に受診する習慣をつけ、健康の保持増進の意識付けとなっている。							
課題		受診勧奨をさらに実施し、受診者数を増やす必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		受診者数（人）			146	371	360	480	500
指標									
他市との比較検証		刈谷市独自事業							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		2,422	5,853	5,926	9,218	合計	5,926,273 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	80,373 円	
		一般財源	2,422	5,853	5,926	9,218	委託料	5,845,900 円	
	職員人件費 ②		2,695	2,733	2,191	1,156			
	総事業費（①+②）		5,117	8,586	8,117	10,374			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			脳ドック事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	健康推進課	
款	項	目					担当係	成人保健係	
4	1	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	MRI装置を使い、脳の状態を調べることで脳血管疾患等の早期発見を図る。			主たる内容	問診、診察、血圧測定、MRI検査・MRA検査による画像診断を行う。 ※対象者の条件：40歳以上の市民で刈谷市脳ドックを初めて受診する人			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
		根拠法令							
		対象者	主たる内容欄※参照		事業期間	平成16年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・定員 700人 ・受診者数 696人		・定員 700人 ・受診者数 684人		・定員 700人 ・受診者数 696人		・定員 800人 ・受診者数 800人	
成果		脳動脈瘤等の早期発見により、早期治療や疾病発生の予防に貢献している。多数回落選者に対して優先枠を設け、受診しやすい環境を整えている。							
課題		脳動脈瘤が発見された人等の、その後の受診状況のフォローができていない。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		受診者数（人）			696	684	696	800	800
指標									
他市との比較検証		刈谷市独自事業							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費①		14,429	14,334	14,585	17,054	合計	14,585,086円	
	財源	特定財源	498	0	0	0	需用費	3,850円	
		一般財源	13,931	14,334	14,585	17,054	役務費	295,000円	
	職員人件費②		2,397	1,976	2,869	1,232	委託料	14,286,236円	
	総事業費（①+②）		16,826	16,310	17,454	18,286			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			特定健康診査等事業				担当課	健康推進課		
款	項	目					担当係	成人保健係		
4	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	健康づくり							
		施策の内容	健康の増進							
	目的	生活習慣病予防を効果的に進めるため、メタボリックシンドロームに着目した健康診査を行い、生活習慣病の予防、改善を図る。				主たる内容	刈谷市国民健康保険被保険者等を対象に医療保険者に義務付けられた生活習慣病予防のための特定健康診査等を実施する。 ※対象者の条件：40歳以上の刈谷市国民健康保険加入者、後期高齢者医療保険加入者等			
	位置づけ	関連計画	第3期刈谷市国民健康保険特定健康診査等実施計画、第2期刈谷市国民健康保険データヘルス計画							
		根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法							
		対象者	主たる内容欄※参照			事業期間	平成20年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・特定健康診査受診者数 7,687人 ・後期高齢者健康診査受診者数 6,424人 ・貧血検査受診者数 11,353人 ・心電図検査受診者数 10,997人 ・眼底検査受診者数 1,975人		・特定健康診査受診者数 8,660人 ・後期高齢者健康診査受診者数 6,639人 ・貧血検査受診者数 12,047人 ・心電図検査受診者数 11,629人 ・眼底検査受診者数 2,057人		・特定健康診査受診者数 8,227人 ・後期高齢者健康診査受診者数 6,800人 ・貧血検査受診者数 11,681人 ・心電図検査受診者数 11,330人 ・眼底検査受診者数 2,262人		・特定健康診査受診者数 9,000人 ・後期高齢者健康診査受診者数 7,000人 ・貧血検査受診者数 12,000人 ・心電図検査受診者数 12,000人 ・眼底検査受診者数 2,300人		
成果		生活習慣病予防のための意識付け、メタボリックシンドロームの予防につながっている。								
課題		40～59歳の働き盛りの年代の受診率向上のため、勧奨文の郵送等で積極的に受診を勧奨する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	法定報告による特定健康診査受診率（％） ※4年度の数値は11月公表予定				38.1	43.5	—	45.0	46.0	
指標										
他市との比較検証		【法定報告 令和3年度受診率】 刈谷市43.5%、碧南市42.6%、安城市45.5%、知立市38.0%、高浜市43.3%								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		180,719	197,496	197,207	246,368	合計	197,206,910 円		
	財源	特定財源	165,506	370	175,414	239,407	需用費	3,485,924 円		
		一般財源	15,213	197,126	21,793	6,961	役務費	5,083,000 円		
	職員人件費②		4,189	3,793	3,396	3,222	委託料	188,637,986 円		
	総事業費（①+②）		184,908	201,289	200,603	249,590				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		特定健診等受託収入 後期高齢者医療広域連合受託 事業収入						
6年度以降の事業費見込		0		健康増進事業費補助金（県）						

会計名			かりやヘルスアップ大学事業				担当部	福祉健康部			
一般会計							担当課	健康推進課			
款	項	目					担当係	健康増進係			
4	1	3									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	健康づくり								
		施策の内容	健康の増進								
	目的	市民が健康のために必要なことを自ら学習することにより、健康に対する意識の高揚と健康寿命の延伸を図る。				主たる内容	健康の基本を学ぶ場として、「栄養・運動・休養」についての講座や実技を、年間16回程度行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画				事業期間	平成16年度～			
		根拠法令	健康増進法								
		対象者	50～60歳代の運動制限のない男女			事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画			
		新型コロナウイルス感染症により中止		新型コロナウイルス感染症により中止		・かりやヘルスアップ大学卒業生 28人 延べ参加者数 392人 ・公開講座（一般参加者数）延べ参加者数 30人		・かりやヘルスアップ大学卒業予定 36人 延べ参加者予定数 36×16=576人 ・公開講座（一般参加者数）延べ参加者数 50人（市役所7階大会議室 - 学生数）			
成果		募集期間で定員に達しなかったため、募集期間終了後に勧奨はがきを送付し追加募集を行った事で、17名の方の応募が得られた。また、参加者は健康に対する意識の向上が見られ、在学中からげんきプラザの利用や市民健康講座への参加があった。									
課題		募集しても定員に満たなかったため、募集方法の改善が必要である。コロナ感染症拡大防止のため、中止していた日帰り研修や栄養実習を再開するため、円滑に運営できるよう計画を立てる必要がある。									
O 実施	指標名称（単位）				実績値			目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
	成果指標	ヘルスアップ大学卒業生（人）			0	0	28	36	36		
	指標										
	他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳				
	事業費 ①		0	0	433	779	合計		433,035 円		
	財源	特定財源	0	0	96	139	報償費	296,500 円			
		一般財源	0	0	337	640	需用費	96,295 円			
	職員人件費 ②		0	840	4,442	4,516	役務費	40,240 円			
	総事業費（①+②）		0	840	4,875	5,295					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0		講座受講料							
6年度以降の事業費見込		0									

会計名		げんき応援事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康増進係	
4	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	病気を持った人や低体力の人でも、安全かつ効果的に運動ができる場所を提供し、運動習慣の定着を促すことで、健康の保持・増進と介護予防を図る。			主たる内容	○自らの健康状態、生活習慣、体力の状況を知るための健康度評価を実施することで、健康づくりに取り組むためのきっかけづくりを行う。 ○個別支援教室では、医師や健康運動指導士等の指導のもと、安全で効果的な運動をすることで、自らの健康づくりに取り組むことができるように支援する。 ○コロナ禍において、感染対策を施し、安心安全な事業運営を行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
			根拠法令	健康増進法					
		対象者	13歳以上の市民		事業期間	平成23年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・げんき度測定受検者数 71人 ・個別支援教室利用者数 5,594人		・げんき度測定受検者数 375人 ・個別支援教室利用者数 19,095人		・げんき度測定受検者数 370人 ・個別支援教室利用者数 23,825人		・げんき度測定受検者数 470人 ・個別支援教室利用者数 24,000人	
成果		一人ひとりの健康状態にあわせた、安全で効果的な運動処方の提供や運動の実践を図ることができた。感染対策を実施しながら、予約受入人数を拡大するなど状況に応じた運営方法を見直したことで利用者数が増加した。							
課題		より多く利用者を受け入れられるよう運営方法の見直しが必要である。							
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	成果指標	げんき度測定受検者数（人）			71	375	370	470	470
成果指標	個別支援教室利用者数（人）			5,594	19,095	23,825	24,000	25,000	
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費①		29,996	34,090	43,848	61,869	合計	43,848,116円	
	財源	特定財源	21,639	24,782	25,081	39,933	需用費	119,592円	
		一般財源	8,357	9,308	18,767	21,936	役務費	220,587円	
	職員人件費②		8,967	9,471	9,713	11,481	委託料	34,003,937円	
	総事業費（①+②）		38,963	43,561	53,561	73,350	使用料及び賃借料	4,488,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		健康増進事業補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0		講座受講料 介護予防普及啓発事業受託収入					
								備品購入費 5,016,000円	

会計名 一般会計			かりや健康マイレージ事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	健康推進課	
4	1	3					担当係	健康増進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	若い世代からの健康意識の向上や自主的な健康づくりを支援する。			主たる内容	運動や食事等、日々の生活習慣の改善に繋がる取組の実践や、各種健康診査の受診、イベント、地域活動、ボランティア活動等に取り組むことでポイントを付与し、一定以上のポイントの獲得により、県内の協力店で優待等が受けられるカードを交付する。			
	位置づけ	関連計画	第2次健康日本21かりや計画						
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成28年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・優待カード交付枚数 918枚		・優待カード交付枚数 1,025枚		・優待カード交付枚数 1,130枚		・優待カード交付枚数 1,200枚	
成果		チャレンジシートの設置場所を増設、アプリの利便性を周知したことで実績の増加につながった。							
課題		20代の男性の参加割合が少ないため、啓発、周知をすすめていく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	優待カード交付枚数（枚）			918	1,025	1,130	1,200	1,200	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		512	665	678	730	合計	677,667 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	66,660 円	
		一般財源	512	665	678	730	需用費	310,147 円	
	職員人件費 ②		2,621	3,793	3,840	3,904	役務費	146,000 円	
	総事業費（①+②）		3,133	4,458	4,518	4,634	負担金、補助及び交付金	154,860 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		住民検診事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	成人保健係	
4	1	4							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	市民の健康維持のため、胸部レントゲン検査を実施し、結核の早期発見を図る。		主たる内容	75歳以上の人を対象に、無料で胸部レントゲン検査を行う。（65歳から74歳の方は肺がん検診に合わせて無料で実施している）				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	感染症法						
		対象者	75歳以上の市民		事業期間	昭和55年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・受診者数（75歳以上） 5,915人 （対象者数14,771人） （65歳～74歳の受診者5,014人については肺がん検診受診者として計上）		・受診者数（75歳以上） 6,380人 （対象者数15,067人） （65歳～74歳の受診者5,374人については肺がん検診受診者として計上）		・受診者数（75歳以上） 6,614人 （対象者数15,670人） （65歳～74歳の受診者4,954人については肺がん検診受診者として計上）		・受診者数（75歳以上） 6,800人	
成果		結核の早期発見に貢献している。							
課題		結核の発病が高齢者に多いと言われる中、より一層の受診者数の増加を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		住民検診事業としての結核健診受診率（%）			40.0	42.3	42.2	43.0	43.5
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費①		13,329	14,548	15,088	18,243	合計	15,088,367円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	15,088,367円	
		一般財源	13,329	14,548	15,088	18,243			
	職員人件費②		1,725	538	610	697			
	総事業費（①+②）		15,054	15,086	15,698	18,940			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		薬剤散布事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	健康推進課		
款	項					目	担当係	健康企画係	
4	1					5			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	予防接種と感染症対策						
	目的	公衆衛生の向上を図り、清潔で住みよい環境づくりを推進する。		主たる内容	感染症がまん延する恐れのある場合、必要に応じて消毒や殺虫を行う。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・噴煙機のメンテナンス、殺虫剤等の備蓄		・噴煙機のメンテナンス、殺虫剤等の備蓄		・噴煙機のメンテナンス、殺虫剤等の備蓄		・噴煙機のメンテナンス、殺虫剤等の備蓄	
成果		消毒や殺虫に必要な資材を備蓄し、噴煙機のメンテナンスを行い、迅速に対応できる体制を整えた。							
課題		殺虫剤噴煙機の老朽化による不具合が多いが、既に部品調達は困難な状況にある。噴煙機の備蓄、管理について検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	水溶性殺虫剤世帯配付数（個）		0	0	0	0	0		
活動指標	防疫用噴煙機貸出し台数（台）		0	0	0	0	0		
C 事業コスト	他市との比較検証								
	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		861	61	4	563	合計	3,597 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,597 円	
		一般財源	861	61	4	563			
	職員人件費 ②		224	227	158	161			
	総事業費（①+②）		1,085	288	162	724			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
		6年度以降の事業費見込		0					